



# 紫雲児の心

## 人生は”挑戦”(チャレンジ)の連続

校長 五十嵐 めぐみ

5月2日(木)、さわやかな五月晴れの下で、第19回チャレンジ・ウォークを実施しました。昨年度からの紫雲寺地区内約16.5kmの周回コースを、今年度は昨年度と逆回りで歩きました。初めてのチャレンジ・ウォークに臨む1年生も、心配なことを事前に先輩たちに質問し、アドバイスをもらって準備し、頑張っ完歩しました。2年生は「昨年より早く」などと自分なりの目標をもち、3年生は最後のチャレンジ・ウォークを仲間と一緒に楽しみながら完歩しました。昨年度と同じコースなので同じ距離でしたが、「今年の方が歩きやすかった」と話す2・3年生が多く、私自身もそう感じました。天候に恵まれたこともありますが、逆周りにしたことで印象が変わることを実感しました。

生徒たちは昨年と同様に、振り返りで川柳や短歌を創りました。優秀作品は5月20日(月)の生徒朝会で表彰されました。私も選者となり、校長賞(生徒会総務は「めぐみ賞」と命名)を選びました。昨年にも増して力作が多く大変悩みましたが、川柳の部・短歌の部で、それぞれ次の作品を選びました。いずれも、人とかかわりの大切さを感じる素敵な作品です。

### 辛い道 仲間と歩けば 辛い道

**校長評:** 一人だったらくじけてしまいそうな長く辛い道も、一緒に歩いてくれる仲間がいるから頑張れました。普段の生活も同じです。16.5kmを歩きながら、自分はいくさんの人に支えてもらっていることを、しみじみと感じている…そんな様子に共感しました。

### たくさんの人の優しさ 身にしみて チャレンジウォーク 完歩達成

**校長評:** 必要な物を準備したりお弁当を作ったりしてくれた家族、沿道で応援してくださった方、一緒に歩きながら励まし合った仲間…。歩きながら「自分は一人じゃない」と実感して、たくさんの人の優しさを感じたチャレンジ・ウォークでしたね。

普段の生活の中ではこれほど長距離を歩くことはなく、私自身にとっても大きな挑戦であるチャレンジ・ウォーク…。数年前、チャレンジ・ウォークを廃止する案が検討されたこともあったと聞きましたが、実際に歩いてみると、生徒にとって大変意義のある行事だということを確認できます。何よりも、頑張った後の生徒たちの素敵な笑顔が、この行事の意義を物語っています。

中学校を卒業すれば義務教育は終わり、各自が自分で選んだ自分の人生を歩いていくこととなりますが、人生は挑戦の連続です。楽しいことより辛いことの方がずっと多くあるでしょう。辛い時、壁にぶつかってくじけそうになった時に、たくさんの人に支えてもらいながら仲間と一緒にゴールを目指して歩いたチャレンジ・ウォークの経験を思い出して、困難を乗り越えてほしいと思います。

「艱難 汝を玉にす」という諺の通り、困難は人を育てます。困難を乗り越えてこそ、人間的に成長します。困難を恐れ、逃げていたのでは、成長できません。充実した人生にするためには、困難にも果敢に立ち向かい、多様な他者とかかわりながら協力し、自分なりに努力して困難に打ち勝つことが大切です。

近年、子どもたちを取り巻く状況はどんどん変化し、未来は予測困難と言われますが、こんな時代だからこそ、仲間と協力し、工夫して困難を乗り越える経験が大きな意味をもつのだと考えます。大人が先回りして困難を取り除き過ぎると、「自分の意思で」「自分の力で」困難を乗り越えられる人間は育ちません。もちろん、子どもたちを危険に晒すことはよくありませんが、子どもの安全を確保しながら必要な負荷を与え、挑戦させる経験は重視したいものです。人生は挑戦(チャレンジ)の連続なので…。

# チャレンジウォーク

ご協力いただいた保護者の皆様、  
地域の皆様ありがとうございました。



**完歩成銘**

チャレンジウォークの振り返り活動で川柳・短歌の作成を行いました。友達と励まし合って歩いた姿や16.5kmのコースを歩ききった後の疲れ、地域の方々の温かさや自然の豊かさなどを詠んだ個性溢れる作品が完成しました。その中から優秀な作品に対して生徒朝会で表彰を行いました。受賞作品を紹介します。

めぐみ賞

校長先生賞

辛い道 仲間と歩けば 辛い

たくさんの 人の優しさ 身にしみて  
チャレンジウォーク 完歩達成

ゴッド  
アイランド  
賞

国語科賞

悔しさを 残さぬようにの ハイペース

道端に 座る猫ちゃん おばあちゃん

紫雲寺は 自然いっぱい 楽しいな  
道に迷った 十三歳

春の風 感じて揺れる 藤の花  
そこに隠れる 小さな命

れんぎょう賞

綺麗だな 青空うつる 田んぼみず

藤の花 紫雲寺伝統 満開に

見渡せば れんぎょうの花 咲き誇る 地域の人が 思いを込めて

## チャレンジ賞

諦めず 歩き続けて 制覇した

足痛い でも頑張ろう 最後まで 諦めないで みんなでゴール

## バイタリティ賞

走りたい けど走れない 我慢だ我慢

諦めず ゴールに向かって 頑張ろう

辛い時 私に力 くれたのは 豊かな自然と 仲間の笑顔

たくさんの 困難を乗り越え  
足が痛くも めげず挑んだ チャレンジウォーク

## スマイル賞

仲間との 絆を深め 歩き切る

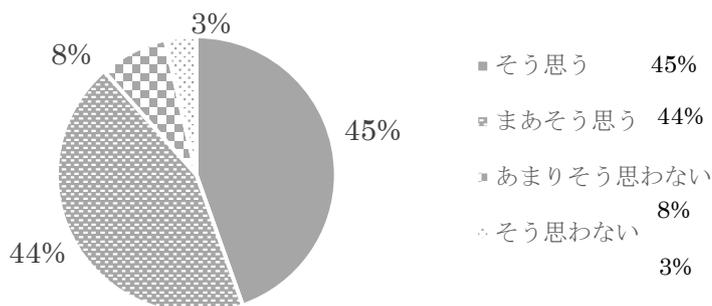
晴れの日 友達誘い 共に行く 諦めないで ゴールを目指す

友の声 心はげまし 笑顔咲く ゴールに向かい 踏み出す一歩

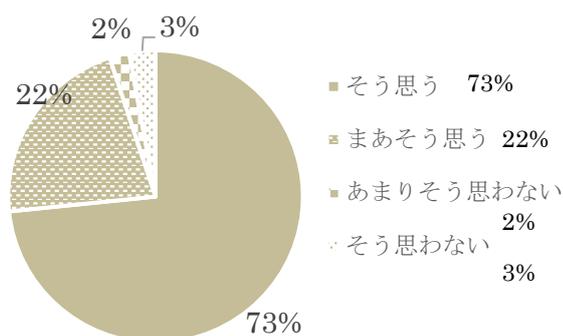
## ○チャレンジウォーク振り返りアンケートを紹介します

5月7日(火)の学級活動の時間に、チャレンジウォークの振り返り活動を行いました。生徒一人一人が、この行事をとおして、多くの事を感じ取ることができました。

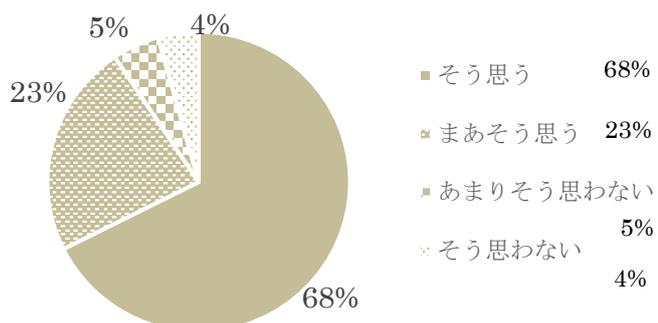
1 紫雲寺瀧の縁を歩いたり、モニュメントを見つけたりして、紫雲寺地域や自然について新たな発見や気づきがあった。



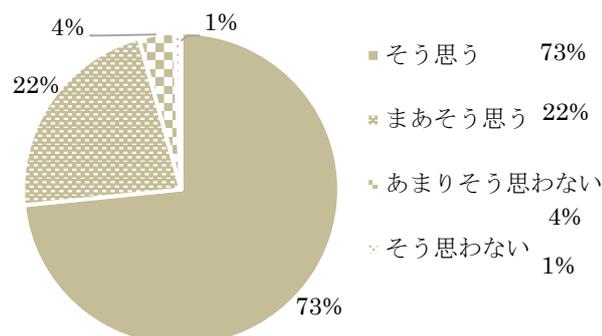
2 お互いに支え合い、励まし合える仲間関係を築くことができた。



3 困難に立ち向かい、粘り強く取り組むことができた。



4 生徒会スローガン「完歩成銘」のもと、お互いに支え合って歩くことができた。



## 緑の羽根募金

生徒会環境委員会の活動として、5月14日(火)～5月17日(金)の朝、緑の羽根共同募金活動を行いました。

生徒の善意の募金3,578円は、市内の緑化推進活動に活用されます。



## 生徒総会

5月15日(月)に第1回生徒総会が行われ、各専門委員会・部活動の今年度の活動計画について話し合いました。生徒会スローガンも「疾風怒濤」に決まり、これからどんな紫雲寺中学校を創り上げていくのか、楽しみです。



応援歌  
 おお戦いの時至る  
 競え健児の八百の  
 勝利の期待その背に  
 春風秋雨鍛えたる  
 鉄腕鉄脚我にあり  
 フレーフレー  
 紫雲寺



## 全校応援練習

激励会に向けて、5月28日(火)、5月29日(水)の昼休みに全校応援練習をしました。体育委員会のリーダーシップで、体育館に大きな声援が響きました。

## 6月の予定



3日(月)	全校朝会(実習生紹介・体育祭) 教育実習開始(~6月21日)	18日(火)	市教育委員会訪問(部活動なし)
4日(火)	専門委員会	19日(水)	3年生単元別テスト 職員会議
6日(木)	全校漢字テスト	21日(金)	下越地区各種大会2日目
7日(金)	下越地区各種大会1日目	22日(土)	下越地区各種大会3日目
10日(月)	保小中合同避難訓練 歯肉炎教室(1年生)	25日(火)	学校預り金引落日
12日(水)	下越地区陸上大会1日目	26日(水)	テスト前諸活動停止(~7月1日) 質問教室
13日(木)	下越地区陸上大会2日目	27日(木)	芸術鑑賞会(全校・午前) 内科検診(3年生)
17日(月)	生徒朝会 命と性の講演会(2学年PTA)		

変更になることもあります。ご了承ください。